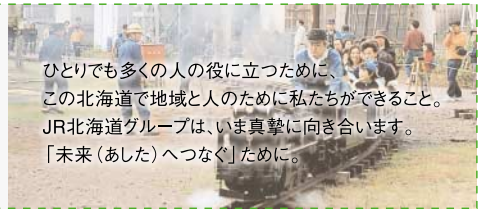


あした 未来へつなぐ

【安全に向けた取り組み】



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂



(写真1) 全面ロードヒーティングされた教習コースとスロープを活用した運転技術の向上。車両はAT車全38台もハイブリッド車を使用した環境対策。また、指導員も86名と道内最大規模でお客様のニーズに応えることの出来る自動車学校。

確かな運転技能と安全への意識を身につけた「生涯無事故ドライバーの育成」を目指す「桑園自動車学校」

北 北海道初の屋上自動車教習所」として、平成十四年十一月に大型スーパリーの屋上にリニューアルオープンした桑園自動車学校(写真一)は、JR北海道のグループ会社の一つです。話題性の大きさと、JR桑園駅に隣接する

その利便性の良さもあって、

入校者が急増し、ここ数年は毎年約四千五百名が入校。十六年連続、全道一の入校者数を誇っています。リニューアル後も同校が安定的に入校者を確保しているのは、都心に近く、最新設備が整った新しい自動車学校だからという理由だけではありません。

同校は地域の交通安全全教育センター(写真二)の役割を担う北海道公安委員会指定校として、「生涯無事故ドライバーの育成」を目指し、安全運転の基本、ルール、マナー等を徹底して指導するほか、確実に運転技能を習得してもらえるよう最新教習機器のドライビングシミュレーター(写真三)の導入等により教習環境の充実を図っています。たとえば、ロビーにはク

ランクの走行や縦列駐車など難易度の高い技能教習について再確認できるビデオを設置。何より交通量が多く、複数の走行車線や交通標識のある札幌の中心街を走行する路上教習は、大きな自信と適切な運転技能が身につく最大の要因となっています。同校を卒業したドライバーの事故率が低いのも、そこに一つの理由があります。また、免許取得後二年間は、卒業生一人ひとりに電話やはがきで安全運転を呼びかけるなど、アフターフォローにも力を注いでおり、そうしたさまざまな要素が入校



(写真2) 小学生を対象にした「春の交通安全教室」を開催。

(写真3) 新しく導入されたシミュレーター。



者の確保につながっていると見えるでしょう。

平成十七年からの五年間にわたり、優良運転者の育成に貢献した学校として、北海道警察から感謝状が授与され、さらに平成十九年には全日本指定自動車教習所協会連合会から優良教習所として全国表彰されました。それらは、これまで同校が安全をテーマにコツコツと実績を積み重ねてきたことを裏付けています。同じく平成二十年に、安全運転中央研修所(茨城県)の教官に北海道から初めて同校の指導員が選ばれました。同研修所は高度な安全運転技能・知識の習得を目的とした日本一の総合的な安全運転教育施設で、実践的かつ専門的な研修により資質の高いドライバー及び運転指導者を育成しています。今年度も二人目の指導員を教官として送り出し、「生涯無事故ドライバーの育成」を実践する学校としての期待と信頼に応えています。